



平成24年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月9日

上場会社名 株式会社ブリヂストン
 コード番号 5108 URL <http://www.bridgestone.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 CEO
 問合せ先責任者 (役職名) 資金部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年5月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(氏名) 津谷 正明
 (氏名) 吉瀬 武尚

上場取引所 東大名福

TEL 03-3563-6985

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第1四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第1四半期	726,245	3.1	63,016	12.8	61,739	9.8	42,203	34.7
23年12月期第1四半期	704,333	6.9	55,868	55.2	56,247	80.3	31,327	77.6

(注) 包括利益 24年12月期第1四半期 141,547百万円 (97.6%) 23年12月期第1四半期 71,640百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第1四半期	53.92	53.90
23年12月期第1四半期	40.03	40.02

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第1四半期	2,903,741	1,297,166	43.3
23年12月期	2,677,344	1,165,673	42.2

(参考) 自己資本 24年12月期第1四半期 1,258,628百万円 23年12月期 1,130,577百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	10.00	—	12.00	22.00
24年12月期	—	—	—	—	—
24年12月期(予想)	—	16.00	—	16.00	32.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,520,000	4.2	118,000	26.0	110,000	19.7	70,000	29.4	89.44
通期	3,240,000	7.1	269,000	40.6	250,000	39.4	168,000	63.2	214.65

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年12月期1Q	813,102,321 株	23年12月期	813,102,321 株
-----------	---------------	---------	---------------

② 期末自己株式数

24年12月期1Q	30,441,596 株	23年12月期	30,441,046 株
-----------	--------------	---------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年12月期1Q	782,661,060 株	23年12月期1Q	782,662,772 株
-----------	---------------	-----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当該資料のうち、将来の見通し及び計画に基づく予測には、不確実な要素が含まれており、変動する可能性を有しております。従って、実際の業績は現時点での当社の判断に対して大きく異なる可能性もあります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	5
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(2) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

① 業績全般

	当第1四半期 連結累計期間	前第1四半期 連結累計期間	増減	
			金額	比率
	億円	億円	億円	%
売上高	7,262	7,043	+219	+3
営業利益	630	558	+71	+13
経常利益	617	562	+54	+10
四半期純利益	422	313	+108	+35

当第1四半期の当社グループを取り巻く環境は、原材料・素材価格が高値で推移し、為替は円高が継続する中、国内においては、厳しい景気状況が続いたものの、東日本大震災からの復興需要や車両販売回復の動きなど持ち直しの動きも見られました。海外においては、景気は、米国では緩やかに回復しましたが、欧州では財政危機が实体经济に影響を及ぼし厳しい状況が続きました。また、アジアにおいても、中国やインドでは、景気の拡大テンポに鈍化傾向が見られました。

このような状況のもとで、当社グループは、グループ経営の最終目標である「タイヤ会社・ゴム会社として名実共に世界一の地位の確立」の達成に向け、グローバルで、高い競争力を持つ商品の拡販や供給能力の増強、生産性の向上、技術優位性の強化、そして経営資源の効率的活用などに一層の努力を続けてまいりました。さらに、需要構造や競争構造などの事業環境の変化がかつてない速さで進行する中、市場の需要動向への迅速な対応を進めるとともに、当社グループが戦略商品と位置付ける商品の拡販や、単なる商品単体の販売に終わらないビジネスモデルの構築・拡大、環境対応商品・事業の展開をより迅速に実行してまいりました。

この結果、当社グループの当第1四半期の売上高は7,262億円(前年同期比3%増)となり、営業利益は630億円(前年同期比13%増)、経常利益は617億円(前年同期比10%増)、四半期純利益は422億円(前年同期比35%増)となりました。

② セグメント別業績

		当第1四半期 連結累計期間	前第1四半期 連結累計期間	増減	
				金額	比率
タイヤ部門	売上高	億円 6,025	億円 5,907	億円 +118	% +2
	営業利益	570	545	+24	+4
多角化部門	売上高	1,279	1,172	+106	+9
	営業利益	60	13	+47	+361
連結 合計	売上高	7,262	7,043	+219	+3
	営業利益	630	558	+71	+13

タイヤ部門では、国内外市場において魅力ある新商品の投入や、戦略商品として当社グループが位置付ける分野やスペック最適化などの基盤競争力の強化を進め、また、地域ごとの需要変動に迅速に対応してまいりました。

日本では、乗用車及び小型トラック用タイヤの販売本数は、市販用が前年同期並に推移しましたが、新車用は自動車生産台数が大きく回復した影響により前年同期を著しく上回りました。トラック・バス用タイヤの販売本数は前年同期並に推移しました。米州では、北米タイヤ事業における乗用車及び小型トラック用タイヤの販売本数は、市販用が減少した影響により前年同期を下回りました。トラック・バス用タイヤの販売本数は市販用が減少した影響が大きく前年同期を大幅に下回りました。欧州では、乗用車及び小型トラック用タイヤ、トラック・バス用タイヤの販売本数は市販用が減少した影響が大きく前年同期を大幅に下回りました。アジア・大洋州では、乗用車及び小型トラック用タイヤの販売本数は前年同期を上回り堅調に推移しました。トラック・バス用タイヤの販売本数は新車用の増加の影響が大きく前年同期を上回り好調に推移しました。中国では、乗用車及び小型トラック用タイヤ、トラック・バス用タイヤの販売本数は市販用が減少した影響が大きく前年同期を大幅に下回りました。特殊タイヤについては、建設・鉱山車両用大型・超大型ラジアルタイヤの販売本数は、生産能力増強の効果もあり前年同期を上回り好調に推移しました。この結果、売上高は6,025億円(前年同期比2%増)となり、営業利益は570億円(前年同期比4%増)となりました。

多角化部門では、自動車関連部品やBSAM多角化における建材事業などで需要回復の影響もあり、売上高は1,279億円(前年同期比9%増)となり、営業利益は60億円(前年同期比361%増)となりました。

(注) セグメント別の金額はセグメント間の取引を含んでおり、連結合計の金額はそれらを消去した後の数値であります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における財政状態は以下のとおりであります。

(資産の部)

資産の部は、商品及び製品が491億円、有形固定資産が458億円、投資有価証券が567億円それぞれ増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ2,263億円増加し、29,037億円となりました。

(負債の部)

負債の部は、未払金が275億円減少したものの、短期借入金が600億円、コマーシャル・ペーパーが185億円それぞれ増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ949億円増加し、16,065億円となりました。

(純資産の部)

純資産の部は、配当金の支払いにより93億円減少したものの、四半期純利益の計上により422億円、その他有価証券評価差額金が467億円、為替換算調整勘定が536億円、それぞれ増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ1,314億円増加し、12,971億円となりました。その結果、自己資本比率は43.3%となり、前連結会計年度末に比べ1.1ポイントの増加となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

前回発表時(2012年2月16日)の予想を変更しておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、連結会計年度の見積実効税率に基づき計算しております。

(2) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 2009年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 2009年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2011年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2012年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	130,343	148,237
受取手形及び売掛金	438,764	432,403
有価証券	90,133	106,349
商品及び製品	314,454	363,583
仕掛品	34,614	40,430
原材料及び貯蔵品	171,411	182,297
その他	152,102	174,865
貸倒引当金	△8,109	△8,139
流動資産合計	1,323,716	1,440,028
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	322,704	331,758
機械装置及び運搬具（純額）	347,195	357,055
その他（純額）	311,432	338,385
有形固定資産合計	981,331	1,027,199
無形固定資産	27,943	29,647
投資その他の資産		
投資有価証券	182,536	239,269
その他	165,116	171,178
貸倒引当金	△3,299	△3,581
投資その他の資産合計	344,353	406,866
固定資産合計	1,353,628	1,463,713
資産合計	2,677,344	2,903,741

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2011年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2012年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	196,742	203,738
短期借入金	198,115	258,139
コマーシャル・ペーパー	18,933	37,441
1年内償還予定の社債	13,174	18,246
リース債務	754	903
未払法人税等	22,854	28,684
未払金	148,756	121,234
その他	198,398	217,875
流動負債合計	797,730	886,263
固定負債		
社債	123,079	123,569
長期借入金	238,474	226,920
リース債務	10,061	10,605
退職給付引当金	257,630	265,966
その他	84,694	93,247
固定負債合計	713,940	720,310
負債合計	1,511,671	1,606,574
純資産の部		
株主資本		
資本金	126,354	126,354
資本剰余金	122,629	122,629
利益剰余金	1,279,978	1,312,794
自己株式	△57,248	△57,249
株主資本合計	1,471,713	1,504,528
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	97,750	144,542
繰延ヘッジ損益	△890	△1,632
為替換算調整勘定	△331,784	△278,159
在外会社の退職給付債務等調整額	△106,211	△110,651
その他の包括利益累計額合計	△341,135	△245,900
新株予約権	770	770
少数株主持分	34,324	37,767
純資産合計	1,165,673	1,297,166
負債純資産合計	2,677,344	2,903,741

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2011年1月1日 至 2011年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2012年1月1日 至 2012年3月31日)
売上高	704,333	726,245
売上原価	472,291	485,884
売上総利益	232,042	240,360
販売費及び一般管理費		
販売運賃	31,883	31,127
広告宣伝費及び販売促進費	18,557	19,318
給料手当及び賞与	45,866	48,566
退職給付費用	3,778	3,801
減価償却費	5,929	5,652
研究開発費	20,020	19,980
その他	50,136	48,897
販売費及び一般管理費合計	176,173	177,344
営業利益	55,868	63,016
営業外収益		
受取利息	1,092	744
受取配当金	118	115
為替差益	1,861	995
雑収入	4,000	5,229
営業外収益合計	7,073	7,084
営業外費用		
支払利息	4,225	4,516
雑損失	2,469	3,844
営業外費用合計	6,695	8,360
経常利益	56,247	61,739
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,471	—
災害による損失	2,261	—
特別損失合計	4,732	—
税金等調整前四半期純利益	51,514	61,739
法人税等	18,124	17,839
少数株主損益調整前四半期純利益	33,390	43,900
少数株主利益	2,062	1,696
四半期純利益	31,327	42,203

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2011年1月1日 至 2011年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2012年1月1日 至 2012年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	33,390	43,900
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,119	46,791
繰延ヘッジ損益	△516	△669
為替換算調整勘定	25,039	54,873
在外会社の退職給付債務等調整額	△448	△4,439
持分法適用会社に対する持分相当額	56	1,091
その他の包括利益合計	38,250	97,647
四半期包括利益	71,640	141,547
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	68,654	137,438
少数株主に係る四半期包括利益	2,986	4,108

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間 (自 2011年1月1日 至 2011年3月31日)

(単位: 百万円)

	タイヤ	多角化	計	調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額
売上高					
外部顧客への売上高	590,091	114,242	704,333	—	704,333
セグメント間の内部 売上高又は振替高	670	3,045	3,715	△3,715	—
計	590,762	117,287	708,049	△3,715	704,333
セグメント利益(営業利益)	54,565	1,321	55,886	△17	55,868

(注) セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

当第1四半期連結累計期間 (自 2012年1月1日 至 2012年3月31日)

(単位: 百万円)

	タイヤ	多角化	計	調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額
売上高					
外部顧客への売上高	601,534	124,711	726,245	—	726,245
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,040	3,212	4,252	△4,252	—
計	602,574	127,923	730,498	△4,252	726,245
セグメント利益(営業利益)	57,001	6,086	63,087	△71	63,016

(注) セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。